



主要な農作物の生育情報

平成22年度 第2号
(平成22年5月11日)

福島県農林水産部研究技術室



【水 稲】

天候不順ではありましたが播種作業は、ほぼ平年並みに推移し無事終了しました。しかし低温の影響から苗の生育不良（無加温出芽での出芽不良、草丈が伸びない、根張りの遅れ等）が見られ、田植えの始期（5%）は平年（5月3日）より6日程度遅れの5月9日となっています。

湛水直播栽培では4月25日より播種が開始されましたが、低温の影響から播種作業を数日遅らせる団地が多い状況です。

<ワンポイント>

寒い日に無理に田植えをせず、風の穏やかな暖かい日に作業を実施しましょう。

予定の育苗日数を大きく超える場合は、追肥（窒素成分箱当たり1gまで）が効果的です。

【麦 類】

1 大麦（シュンライ）

低温の影響から出穂期が農業総合センター本部で8日遅れ、浜地域研究所で6日遅れとなりました。生育量は農業総合センターで草丈がやや短めですが、ほぼ平年並みを確保しています。

2 小麦（きぬあずま、ゆきちから）

低温の影響から出穂期が遅れ、「きぬあずま」で4日から5日遅れ、「ゆきちから」では今後出穂期を迎える状況です。生育量は「きぬあずま」では草丈がやや短め、茎数はやや多め、「ゆきちから」では草丈が短め、茎数は平年並みからやや少ない状況となっています。

表1 麦類の生育状況

種別	調査場所	品 種	は種期 (月.日)	節間伸長		5月1日現在（会津、浜は4/30）	
				開始期 (月.日)	出穂期 (月.日)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)
大 麦	本 部	シュンライ	10.20(+ 1)	4.01(+14)	5.01(+ 8)	66.1(76%)	609(114%)
	浜 地 域	シュンライ	10.30(+ 5)	3.24(+ 1)	5.02(+ 6)	74.9(105%)	584(100%)
小 麦	本 部	きぬあずま	10.20(+ 1)	3.19(+16)	5.05(+ 4)	63.3(88%)	694(108%)
	浜 地 域	きぬあずま	10.30(+ 5)	3.17(+ 2)	5.06(+ 5)	65.5(88%)	698(115%)
麦	本 部	ゆきちから	10.20(+ 1)	4.10(+17)	(平年5.08)	53.1(83%)	741(90%)
	会津地域	ゆきちから	10. 5(± 0)	4.14(+ 8)	(平年5.11)	35.0(69%)	717(99%)

農業総合センター本部(郡山)・会津地域研究所(会津坂下)・浜地域研究所(相馬)の調査による。

()内の数字は平年比較である。(但し前5カ年または4カ年平均値との対差・対比)

<ワンポイント>

出穂期の季節です。「赤かび病」防除適期ですので防除対策を万全にしましょう。

「ゆきちから」では蛋白含量を高めるため、出穂期追肥（窒素2～3kg/10a）を行いましょう。

【野菜】

1 アスパラガス（4月30日現在）

半促成栽培の春どりは、会津地方では4月下旬までにほぼ終了し立茎を行っています。南会津地方では、収穫後半となっています。いずれの地方も概ね平年並みの出荷量となっています。

露地栽培の春取りの出荷開始は、会津地方では4月30日から始まり、南会津地方では5月の連休明け頃から始まる予定です。いずれの地方も平年に比べて出荷開始が10日程度遅れています。

2 きゅうり（4月30日現在）

県中地方のきゅうり半促成（加温）は3月中旬から出荷され、現在子づる上段～孫づるの収穫中で平年と比べ5～7日程度生育は遅れています。生育は回復傾向にあり4月下旬から収穫盛期となっています。露地夏秋きゅうりのは種は、平年並みの4月20日頃から行われていますが、4月下旬の低温で生育が1日～2日程度遅れています。

3 トマト（4月30日現在）

県南地方では、2月下旬から3月上旬にかけてのは種の作型で、4月20日頃より定植作業が行われています。一部活着不良が見られます。

南会津地方では、4月7日～8日にかけて共同は種が行われています。各農家への仮植苗配布は、4月30日から行われております。

4 サヤエンドウ（5月7日現在）

伊達地方及び安達地方では、草丈が50～60cmで平年の70%程度となっております。出荷開始は平年と比べ10日程度遅れて5月中旬からの見込みです。

5 春ブロッコリー（4月30日現在）

県南地方では、マルチべたがけの体系で3月下旬より4月上旬にかけて定植され、生育は7～10日程度遅れています。特に3月下旬に定植したもので降雪による葉折れがありました。

相双地方では、平坦で3月下旬から定植され、山間（飯館）で4月中旬から定植が始まりました。生育は定植後の低温で10日程度遅れています。

いずれの地方とも低温によるボトニングの発生が心配されます。

6 イチゴ（4月30日現在）

県北地方の促成栽培は、早いもので第3次腋果房収穫後半となっています。各果房の着果数は少ない傾向にあり、生育は7日程度遅れています。病害虫ではうどんこ病、ハダニ類、コナジラミ類が散見されます。

【果樹】

県内における主要果樹の生育状況（5月10日現在）は、次のとおりとなっております。

1 モモ

農業総合センター果樹研究所（以下、果樹研究所という。）におけるモモの満開は、「あかつき」が4月25日、「ゆうぞら」が4月26日で平年より4日遅れました。また、県内の主要産地における「あかつき」の満開は4月24日～5月2日頃で、平年より4～7日遅れました。

2 ナシ

果樹研究所におけるナシの満開は、「幸水」が5月5日、「豊水」が5月2日で平年より8日遅れました。また、県内の主要産地におけるナシ「幸水」の満開は5月1日～5日頃で、平年より5～9日遅れました。

3 リンゴ

果樹研究所におけるリンゴの満開は、「つがる」が5月6日で平年より5日遅く、「ふじ」が5月5日で平年より3日遅れました。また、県内の主要産地におけるリンゴ「ふじ」の満開は、中通り地方では5月4日～9日頃で平年より3～7日遅れましたが、会津地方では確認されていません。

4 オウトウ

果樹研究所におけるオウトウ「佐藤錦」の満開は5月3日で平年より9日遅れました。

5 ブドウ

果樹研究所におけるブドウ「巨峰」の展葉は5月3日で平年より9日遅れました。

表2 主要果樹の開花状況 (農業総合センター果樹研究所)

樹種	品種	開花始め			満開		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
モモ	あかつき	4月18日	4月16日	4月9日	4月25日	4月21日	4月15日
	ゆうぞら	4月19日	4月17日	4月10日	4月26日	4月22日	4月14日
ナシ	幸水	4月29日	4月23日	4月18日	5月5日	4月27日	4月24日
	豊水	4月25日	4月19日	4月14日	5月2日	4月24日	4月21日
リンゴ	つがる	5月4日	4月26日	4月24日	5月6日	5月1日	5月1日
	ふじ	5月3日	4月27日	4月22日	5月5日	5月2日	4月30日
オウトウ	佐藤錦	4月29日	4月19日	4月14日	5月3日	4月24日	4月23日

表3 ブドウの発芽・展葉状況 (農業総合センター果樹研究所)

樹種	品種	発芽			展葉		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
ブドウ	巨峰	4月20日	4月19日	4月14日	5月3日	4月24日	4月19日

【花き】

1 キク類(5月7日現在)

露地栽培の小ギクや輪ギクでは、8月咲き品種の定植が、4月中旬の降雪等の影響で平年より7～10日遅れて4月下旬から行われています。しかし、定植後に気温が回復したこともあり、生育への影響は少ないとみられます。

また9月咲き品種の定植作業は、5月中旬から始まる予定です。

2 リンドウ(5月10日現在)

県内のリンドウの生育状況(4月30日現在)は、暖冬であった昨年と比較すると、草丈が約半分にとどまっており、10日程度の遅れになっていますが、気温上昇に伴い回復傾向にあります。

表4 リンドウの生育状況（作柄概況調査：4月30日現在）

調査場所	品 種（開花期）	草丈	節数
安達	尾瀬の夢（7/下～8/上）	15.1cm(56%)	10.1(112%)
南会津	尾瀬の夢（7/下～8/上）	7.6cm(75%)	3.9(67%)
会津	しなの早生（8/上旬）	12.6cm(45%)	3.7(38%)
相双	しなの早生（8/上旬）	20.8cm(65%)	6.7(75%)
会津	しなの3号（9/上旬）	12.4cm(44%)	3.6(38%)
相双	しなの3号（9/上旬）	19.0cm(58%)	5.9(61%)

()内の数字については、地域での前年比

3 シュッコンカスミソウ（5月10日現在）

昭和村でもようやく融雪が進み、パイプハウスの組み立て作業や7月上旬咲き作型の定植作業が、順調におこなわれています。

また低温による越冬株の生育や圃場づくりの遅れは、5月上旬の好天によりほぼ平年並みにまで回復してきました。

4 トルコギキョウ（5月10日現在）

会津地方の促成栽培は、10日程遅れて4月下旬から初出荷が始まりました。本格出荷は5月中旬からの見込みです。

また3月定植の作型では、全県的に生育が緩慢となり、2週間程度遅れたところもありますが、現在育苗中の苗や4月以降に定植した作型では順調に生育しています。

【飼料作物】

県内の牧草は、4月中旬の降雪と低温の影響により、4月下旬までは、平年に比べ約1週間程度生育が遅れていましたが、5月に入り好天に恵まれ生育が回復してきています。

病害虫については一部の山間部等で雪腐れ病の発生が見られましたが、その他の目立った病害虫の発生はありません。

表5 作柄判定ほ場等における混播牧草（草丈）の生育状況

調 査 場 所			測定日	平年	平年比
区 分	地 区	市町村等名	(4/26～5/1)	(過去5年平均)	
平地	安達	大玉村玉ノ井	40.6cm	56.3cm	72%
"	相双	南相馬市原町	45.5	58.9	77%
"	畜産研究所	福島市荒井	48.2	67.4	72%
山間	安達	二本松市岳	23.5	33.0	71%
"	田村	田村市都路	17.0	28.4	60%

【タバコ】（5月7日現在）

播種盛期は、第1バーレー種（たいへい）が3月8日、第2在来種（松川）が3月20日と平年並でした。仮植盛期は「たいへい」が4月2日、「松川」は4月11日と平年並みでした。しかし、3月下旬から4月下旬までの低温・日照不足により苗の生育と畑の準備の遅延により、移植最盛期は「たいへい」が5月3日と平年と比べ5日遅く、「松川」も5月8日頃で平年より4日遅れています。（福島県たばこ耕作組合調べ）

【 桑 】（5月7日現在）

農業総合センター内の桑の発芽開葉状況は下表のとおりです。生育は回復傾向にありますが、昨年と比較して第1開葉期が改良鼠返で6日、きぬゆたかで11日遅れています。

表6 平成22年度発芽開葉状況 H22.5.6 現在

調査地	品種名	年次	脱苞	燕口	第1 開葉	第2 開葉	第3 開葉	第4 開葉	第5 開葉	第6 開葉
高倉	改良鼠返	平成21年	4/19	4/25	4/30	5/1	5/3	5/5	5/6	5/8
		平成22年	5/2	5/5	5/6					
	きぬゆたか	平成21年	4/14	4/23	4/25	4/28	5/1	5/5	5/6	5/9
		平成22年	5/1	5/5	5/6					
梁川	改良鼠返	平年値	4/21	4/25	4/28	4/29	5/1	5/2	5/4	5/6

注) 平年値は平成17年より過去20年間の平均(旧農試梁川支場の調査データによる)

病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報(ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>)等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部研究技術室 TEL(024)521-7336

<http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyukaihatu/gijyutsufukyu/seiikugijyutsuyouhou.html>